



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日
東

上場会社名 アル一株式会社 上場取引所
 コード番号 7043 URL http://www.alue.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)落合 文四郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 (氏名)稲村 大悟 (TEL) 03 (6268) 9791
 コーポレート部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	361	△22.9	△167	—	△172	—	△124	—
2019年12月期第1四半期	468	—	△51	—	△52	—	△37	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △127百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	△49.63	—
2019年12月期第1四半期	△14.71	—

(注) 1. 2018年12月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,406	910	64.7
2019年12月期	1,283	1,055	82.2

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 910百万円 2019年12月期 1,055百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 2020年12月期の配当予想は、現時点において適切な予想値を算定することは困難な状況であるため未定としております。

詳細につきましては、2020年5月13日公表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000 ~1,700	△20.3 ~△32.3	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2020年12月期の連結業績予想は、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大による影響を踏まえ、売上高をレンジ形式での開示とし、利益額の予想につきましては、現時点において適切な予想値を算定することは困難な状況であるため未定としております。

詳細につきましては、2020年5月13日公表の「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年12月期 1 Q	2,554,400株	2019年12月期	2,554,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	36,600株	2019年12月期	36,600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年12月期 1 Q	2,533,220株	2019年12月期 1 Q	2,554,400株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初、企業収益の改善がみられたものの、新型コロナウイルスに関連する感染症の影響により、景況感が急激に悪化し、不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境においても、当社の提供する教室型研修のような集合形式で実施する研修は、感染症拡大防止のため、実施を見合わせる企業も出ております。

このような市場環境の中、当社グループは、従来の集合形式で実施する研修だけではなく、web経由で研修を受講できる環境の構築や、その実施準備に注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は、361,122千円(前年同期比22.9%減)と前年同期に比べ107,184千円の減少となりました。これは、新型コロナウイルスに関連する感染症の影響により、当社の主力のサービスである教室型研修の実施を見送られたことによるものです。また、利益面では、前述影響による売上高の減少をうけ、売上総利益も低調に推移したことに加え、当社の販売費及び一般管理費は、人件費や地代家賃等固定費の締める割合が大きいことを受け、営業損失は、△167,808千円と前年同期に比べ116,349千円の増加となり、経常損失は△172,520千円と前年同期に比べ120,009千円の増加、親会社株主に帰属する四半期純損失は△124,959千円と前年同期に比べ87,389千円の増加となりました。

なお、当社グループの業績は、通常の営業形態として、第2四半期連結会計期間に計上する売上高の割合が大きく、第1四半期連結会計期間においては、第2四半期連結累計期間以降の収益拡大のため受注の拡大に努める一方、販売費及び一般管理費において、人件費や地代家賃等固定費は季節的変動の影響を受けず支出するため、每期第1四半期連結会計期間は営業損失を計上しております。また、新型コロナウイルスに関連する感染症の影響につきましては今後も注視してまいります。

当社グループは単一の報告セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態については、当連結会計年度末では以下の通りとなりました。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)	増減
流動資産	1,067,118	1,140,982	73,863
固定資産	216,696	265,092	48,396
資産合計	1,283,814	1,406,074	122,260
流動負債	191,779	272,767	80,988
固定負債	36,909	223,273	186,363
負債合計	228,689	496,041	267,351
純資産合計	1,055,125	910,033	△ 145,091
負債純資産合計	1,283,814	1,406,074	122,260

主な変動理由は以下の通りです。

流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、1,140,982千円となり、前連結会計年度末に比べて73,863千円の増加となりました。これは主に、借入の実行等により現金及び預金が203,576千円増加した一方で、新型コロナウイルスに関連する感染症の影響により納品が減少したため、売掛金が166,037千円減少したことによるものです。

固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産残高は、265,092千円となり、前連結会計年度末に比べて48,396千円の増加となりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間において親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことに伴い、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産が48,545千円増加したことによるものです。

流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債残高は、272,767千円となり、前連結会計年度末に比べて80,988千円の増加となりました。これは主に、借入の実行により1年内返済予定の長期借入金が97,956千円増加したことによるものです。

固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債残高は、223,273千円となり、前連結会計年度末に比べて186,363千円の増加となりました。これは主に、借入の実行により長期借入金が186,717千円増加したことによるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、910,033千円となり、前連結会計年度末に比べ145,091千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び、配当金の支払いにより利益剰余金が142,583千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスに関連する感染症の世界的な拡大による影響は、各国の情勢に様々な影響を及ぼしており、当社グループにおきましても、集合形式での教室型研修の実施見合わせ、海外派遣型研修の渡航取り止めなどによる販売への影響や、海外子会社における、渡航や外出の制限の措置等による事業運営への影響を受けております。

最終的な影響額は現在精査中ではありますが、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大による受注済み案件への影響は現時点で358百万円に上っております。外出の自粛要請や渡航の制限等が長引いた場合、現在受注済み案件のキャンセルが増加する恐れがあり、今後の売上額に与える影響が拡大する事が見込まれます。この他、外出の自粛要請が解かれ、企業活動の再開がなされた場合にも、顧客企業の教育研修に対する投資意欲の回復が順調に進まない場合、案件の受注が積みあがらず影響がさらに拡大する可能性があります。

一方で、リモートワークの増加に伴いオンラインでの研修や人材育成に注目が集まっており、eラーニングシステム「etudes」をはじめとした当社が提供するeラーニングへの引き合いも拡大しております。

また、今後の人材育成の形としてリモートでの学習機会も増加することが予想される中で、当社グループのグローバル関連の構造を見直し、需要に見合ったコスト構造を実現する試みや、個人向けALUGOのマーケティングを休止し、赤字幅を縮小する試みにも取り組む事を検討中ですが、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大が世界経済に対し影響を及ぼしている中で、海外子会社を含む当社グループの事業活動に係る費用の合理的な見積りを行う事が現時点では困難であると認識しております。

そのため、新型コロナウイルスに関連する感染症の拡大規模や収束時期が見通せない状況下では合理的な業績予想の算定が困難であり、2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、連結売上高については、レンジ形式での開示とさせていただきます、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益並びに1株当たり当期純利益につきましては、一旦未定とさせていただきます。

なお、現在未定としております業績予想に関しましては、今後の動向を注視し、算定および公表が可能となった段階で改めて公表いたします。

現在の当社の状況及び取組みにつきましては、5月13日に公表いたしました決算説明資料にてより詳細にご説明しておりますので、併せてご確認下さい。

当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,650	百万円 145	百万円 135	百万円 100	円 銭 39.72
今回修正予想 (B)	2,000 ～1,700	未定	未定	未定	未定
増減額 (B - A)	△650 ～△950	—	—	—	—
増減率 (%)	△24.5 ～△35.8	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (2019年12月期)	2,509	165	160	115	45.68

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,600	931,176
売掛金	288,169	122,131
仕掛品	5,639	13,078
その他	45,709	74,595
流動資産合計	1,067,118	1,140,982
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	22,092	21,403
その他(純額)	8,128	7,644
有形固定資産合計	30,221	29,048
無形固定資産		
ソフトウェア	17,849	16,600
のれん	29,137	27,576
その他	23,578	27,248
無形固定資産合計	70,565	71,425
投資その他の資産		
投資有価証券	15,000	15,000
差入保証金	59,599	59,564
繰延税金資産	24,997	73,543
その他	16,312	16,510
投資その他の資産合計	115,909	164,618
固定資産合計	216,696	265,092
資産合計	1,283,814	1,406,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,777	12,718
1年内返済予定の長期借入金	41,916	139,872
未払金	51,709	47,978
未払費用	15,280	18,036
未払法人税等	8,020	612
前受金	8,315	29,000
その他	34,759	24,550
流動負債合計	191,779	272,767
固定負債		
長期借入金	34,524	221,241
その他	2,385	2,032
固定負債合計	36,909	223,273
負債合計	228,689	496,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	365,280	365,280
資本剰余金	345,280	345,280
利益剰余金	358,741	216,157
自己株式	△37,545	△37,545
株主資本合計	1,031,757	889,173
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	23,368	20,860
その他の包括利益累計額合計	23,368	20,860
純資産合計	1,055,125	910,033
負債純資産合計	1,283,814	1,406,074

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	468,307	361,122
売上原価	225,202	208,561
売上総利益	243,105	152,561
販売費及び一般管理費	294,564	320,370
営業損失(△)	△51,458	△167,808
営業外収益		
受取利息	271	203
その他	69	181
営業外収益合計	340	384
営業外費用		
支払利息	416	203
為替差損	904	4,892
その他	72	-
営業外費用合計	1,392	5,096
経常損失(△)	△52,510	△172,520
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,510	△172,520
法人税、住民税及び事業税	947	1,007
法人税等調整額	△15,888	△48,568
法人税等合計	△14,941	△47,560
四半期純損失(△)	△37,569	△124,959
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,569	△124,959

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純損失(△)	△37,569	△124,959
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	308	△2,507
その他の包括利益合計	308	△2,507
四半期包括利益	△37,261	△127,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,261	△127,467
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。